

反対の性質をもつ数量

反対の性質

- ・ 正の数と負の数は0を基準に「**大きい数**」「**小さい数**」
→正負の符号によって**反対の性質をもつ量**を表すことができる
- ・ 反対の性質をもつ日本語表現はたくさんあるため、
どちらの符号で表現するか注意する

<例>

東へ 8 km 移動することを +8 km と表すとき、
西へ 5 km 移動することは -5 km と表せる。

1000 円の利益を +1000 円と表すとき、
800 円の損失は -800 円と表せる。

「東」と「西」(名詞)や「利益」と「損失」(名詞)のように**反対の性質を符号で表現**
「高い」と「低い」(形容詞)、「前進する」と「後退する」(動詞)など非常に多い

<確認問題>

次の数量を正の符号、
負の符号を用いて表せ。

(1) 海面の高さを基準の 0 m とし、高さが
海面よりも高いことを正の数、低いことを
負の数で表すとき、A 山の標高 599 m

(2) 海面の高さを基準の 0 m とし、高さが
海面よりも高いことを正の数、低いことを
負の数で表すとき、B 海溝の最も深いところの
深さ海面下 240 m

(3) 800 円の利益を +800 円と表すとき、
1600 円の損失

(4) 現在から 20 分前を -20 分と表すとき、
現在から 50 分後のこと

(5) 気温が現在よりも 3 °C 高くなることを
+3 °C と表すとき、気温が現在よりも 8 °C 低
くなること

(6) 気温が現在よりも 3 °C 低くなることを
-3 °C と表すとき、気温が現在よりも 7 °C 高
くなること

(7) 北へ 2 km 移動することを +2 km と表
すとき、南へ 1.5 km 移動すること

(8) 東へ 5 km 移動することを -5 km と表
すとき、西へ 3.2 km 移動すること

反対の性質をもつ数量

反対の性質

- ・ 正の数と負の数は0を基準に「**大きい数**」「**小さい数**」
→正負の符号によって**反対の性質をもつ量**を表すことができる
- ・ 反対の性質をもつ日本語表現はたくさんあるため、
どちらの符号で表現するか注意する

<例>

東へ 8 km 移動することを +8 km と表すとき、
西へ 5 km 移動することは -5 km と表せる。

1000 円の利益を +1000 円と表すとき、
800 円の損失は -800 円と表せる。

「東」と「西」(名詞)や「利益」と「損失」(名詞)のように**反対の性質を符号で表現**
「高い」と「低い」(形容詞)、「前進する」と「後退する」(動詞)など非常に多い

<確認問題>

次の数量を正の符号、
負の符号を用いて表せ。

(1) 海面の高さを基準の 0 m とし、高さが
海面よりも高いことを正の数、低いことを
負の数で表すとき、A 山の標高 599 m

+599 m

(2) 海面の高さを基準の 0 m とし、高さが
海面よりも高いことを正の数、低いことを
負の数で表すとき、B 海溝の最も深いところの
深さ海面下 240 m

-240 m

(3) 800 円の利益を +800 円と表すとき、
1600 円の損失

-1600 円

(4) 現在から 20 分前を -20 分と表すとき、
現在から 50 分後のこと

+50 分

(5) 気温が現在よりも 3 °C 高くなることを
+3 °C と表すとき、気温が現在よりも 8 °C 低
くなること

-8 °C

(6) 気温が現在よりも 3 °C 低くなることを
-3 °C と表すとき、気温が現在よりも 7 °C 高
くなること

+7 °C

(7) 北へ 2 km 移動することを +2 km と表
すとき、南へ 1.5 km 移動すること

-1.5 km

(8) 東へ 5 km 移動することを -5 km と表
すとき、西へ 3.2 km 移動すること

+3.2 km